

# 自律活動度チェックシート

## 採点方法

- ① 各項目について、「評価基準」を参考にして、「採点欄」に「0～5の6段階」で工場の実力値を評価する。
- ② 「重要度考慮点」には、「重要度」÷5×「①で付けた点数」を計算して記入する。
- ③ 全項目の「重要度考慮点」の総和が、100点満点中の実力値となる。
- ④ 83ページのように、レーダーチャートに③の結果を入れ、製造基盤の大きさを確認し、強化に役立てよう。

※評価基準を確認し、どうすれば現状より高い点がつけられるのか具体的に考察することが重要。

No	重要度	評価項目	採点欄	重要度考慮点	評価点	評価基準
1	25	QCサークル等 小集団活動 ＜実行度＞			5 3 1	小集団活動が活発に行える仕組みがあり、通常業務とは別に活発に活動している 定期的に小集団活動が行われている 小集団活動は行っているがほとんど形式的なものである
2	10	改善活動の 見える化 ＜実行度＞			5 3 1	常に最新の改善活動の事例が掲示され、全員に周知できている 定期的に最新の改善活動事例が掲示されている 改善活動事例が掲示されている
3	10	改善提案制度 ＜実行度＞			5 3 1	改善提案制度が設けられ、毎月一定の提案が活発に提案されている 改善提案制度が設けられ、特定の人が活発に提案している 改善提案制度があるが、ほとんどの人が提案していない
4	10	改善活動効果 の見える化			5 3 1	小集団活動や改善提案の採用により得られるまたは得られた効果を数値化して評価するルールがあり常に自分達で算出し見える化できている 小集団活動や改善提案の採用により得られるまたは得られた効果を数値化して評価するルールがある 小集団活動や改善提案の採用により得られるまたは得られた効果は件数をカウントする程度
5	10	ＩＥの活用			5 3 1	各職場にＩＥ（インダストリアル・エンジニアリング）の技法を十分理解・習得している人がいて、改善にＩＥ技法が積極的に用いられている 職場や個人によってＩＥ技法の理解、活用度に偏りがある ＩＥについての理解度向上に取り組んでいるが活用されるまでには至っていない
6	10	改善人材の 育成			5 3 1	定期的な社内教育または外部研修により具体的な改善手法を身につけるための制度がある 不定期に社内教育または外部研修により具体的な改善手法を身につけるための機会を設けている 改善手法の習得はOJTに頼っている
7	10	改善発表			5 3 1	定期的に全社的な小集団活動や改善内容・改善効果をメンバーが発表する機会が設けられ、優秀なチームが表彰されるなど制度化されている 不定期に小集団活動や改善提案・改善実績を発表する場を設けている 小集団活動や改善提案・改善実績を発表する機会がなくデータや紙に成果をまとめ提出するのみとなっている
8	10	改善のための ミーティング			5 3 1	毎日朝礼等で活発な改善に関する意見交換ができている 各職場内での改善のためのミーティングをする時間がある 意見交換をする時間が十分にはとれていない
9	5	出張・研修の 報告			5 3 1	出張、研修・セミナーの参加後は、その所感や職場への応用についての報告・話し合いが全員で行われている 出張、研修・セミナーの参加後、その所感や職場への応用についての報告・話し合いが一部の人たちで行われている 出張、研修・セミナーの参加後、その所感や職場への応用についての報告・話し合いが行われていない